

令和5年度登録要約筆記者認定試験
要約筆記技能試験—OHCロールによる要約筆記—

「詐欺被害の防止」

詐欺被害という言葉聞いて、皆さんはどんなことを思い浮かべますか。越谷市では、年々増加、巧妙化する詐欺の被害防止について、警察や行政による啓発ポスターや防災放送、各銀行などで注意喚起を促しています。「自分は絶対に引っかからないから大丈夫」とか、「すぐに受話器は取らず、留守録を聞いてから折り返すようにしている」など、「対策が済んでいるから大丈夫」と話しておられる方も多くいらっしゃいます。わたしは、そんな言葉を聞くと安心が心隙を作ってしまうのではないかと余計に心配になってしまうのです。

息子や孫を装って、「車で事故を起こしてしまった」と電話が掛かってくるオレオレ詐欺や、「訴えられているので示談金の振り込みを」と掛かってくる振り込み詐欺を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。そのため、詐欺は電話さえ気を付けていれば大丈夫と安心してしまうのでしょうか。ですが、電話は一切かかってこない詐欺として数年前には、パソコンの画面に「ウイルス感染のため、パソコンを暗号化した」と表示され、解除するために身代金を求めるランサムウェアによる詐欺も流行しました。

本市では、街頭呼びかけキャンペーンや各自治会への出前講座など詐欺被害防止のための活動をしてきましたが、令和5年1月から9月までの間に特殊詐欺被害の件数は75件、被害金額が約2億2000万円となっており、前年の同月と比べ24件、約1億3000万円増加するなど、件数、金額ともに県内でワースト1位と危機的な状況になっています。

最近は、高齢者も一人1台スマートフォンを持つのも珍しくなくなってきました。スマートフォンを使って、お孫さんと直接やり取りを楽しむ方や頭の体操にゲームを楽しむ方も多いことでしょう。便利に使える一方で、ある日突然届いた知らない番号からのショートメールの相手は、本当にお孫さんですか。アプリの利用中に現れた画面をなんとなく押してしまっただけではないですか。

詐欺から自分や家族を守るため、「いつもと違う、おかしい」と少しでも疑問を感じたら、画面をクリックする前に、身近な人に相談してみましょう。また、日頃から家族で詐欺について話し合い、気軽に相談できる環境を作っておくことも大切です。皆で声を掛け合って、ワースト1位を脱却しましょう。

令和5年度登録要約筆記者認定試験
要約筆記技能試験—OHCロールによる要約筆記—

「ヘアドネーション」

私は先日、人生初めてのヘアドネーションをしました。ヘアドネーションとは切った髪の毛を寄付することですが、そのようにして全国各地から集められた髪の毛は、病気や事故などで髪を失った子どものための医療用ウィッグの製作に使われています。

私がこの活動を知ったのは、何気なく見ていたニュース番組がきっかけでした。番組内では、東京都立高校のある男子生徒が、コロナ禍で理髪店が営業休止になったことから、ヘアドネーションにチャレンジし、2年かけて伸ばした髪を寄付したことが紹介されていました。この生徒は、中学から野球部で活動をしていたのですが、高校に入る頃には後ろ髪を一つにまとめて結べるほどになりました。大会ではフルスイングをしたり、全速力で走ったりするので、大きめの帽子に髪を折りたたんで入れていたそうですが、それでも長い後ろ髪がなびくこともあったと話していました。

ちょうど私も成人式で髪を伸ばしていたこともあり、せっかく伸ばしたので何か役に立てたいと考えて挑戦してみることにしたのです。もともとショートヘアでしたので、寄付が出来る長さまで髪を伸ばすのに、なんと3年もの年月が掛かりました。その間、髪が痛まないように気を付けて、少しずつ長く、重くなる髪の手入れをするのは簡単なことではありませんでした。

活動に参加するためには2つの条件があります。普段通りに切った髪をそのまま寄付できるわけではなく、長さが31センチメートル以上あることと髪をきれいに紐でまとめて切ってあることです。そのためカットの際は、この活動に賛同している美容院で切ってもらうのがおすすめです。

私がいつも通っている美容院に聞いてみると、ヘアドネーション用にカットしてもらうことができましたが、いつもとは違い、長く伸ばした髪を丁寧に切っていく瞬間は私も担当してくれた美容師も緊張の一瞬でした。こうして集められた髪の毛で作ったウィッグを使って、子どもたちが少しでも笑顔で過ごせる時間が増えたら嬉しく思います。髪をきれいに長く伸ばすのは大変でしたが、子どもたちの笑顔を思うともう一度頑張ってみようかと思っています。